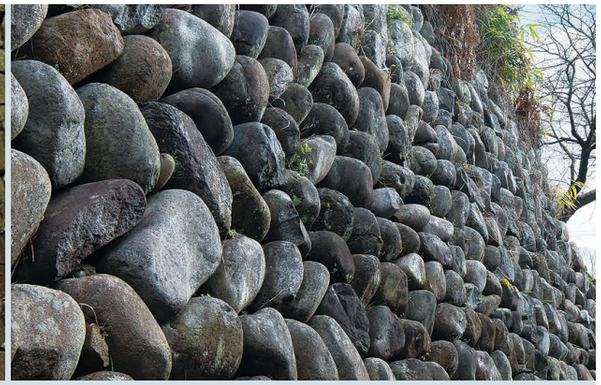


福井城址の笏谷石の高石垣（福井市）



勝山城下町・七里壁の石垣（勝山市・義宣寺付近）

◉東京から

●JR
北陸新幹線かがやき―北陸線特急→福井駅 約3時間20分
東海道新幹線ひかり―北陸線特急→福井駅 約3時間30分

●飛行機
羽田・成田―小松空港―連絡バス→福井駅東口 約2時間

●自動車
東名―名神―北陸自動車道→福井IC 約5時間30分

◉大阪から

●JR
湖西線特急サンダーバード→福井駅 約1時間50分

●自動車
名神―北陸自動車道→福井IC 約2時間40分

◉名古屋から

●JR
北陸線特急しらさぎ→福井駅 約2時間

●自動車
名神―北陸自動車道→福井IC 約2時間

一乗谷朝倉氏遺跡博物館へのアクセス

●JR
福井駅（越美北線）→（約15分）→「一乗谷駅」下車（徒歩約3分）

●バス
京福バス福井駅西口⑤のりば（一乗谷東郷線）→（約25分）→「朝倉博物館前」下車

●自動車
北陸自動車道福井IC→国道158号線（約10分）
東海北陸自動車道白鳥西IC→国道158号線（約60分）

勝山旧城下、平泉寺白山神社へのアクセス

●電車・バス
JR福井駅（えちぜん鉄道勝山永平寺線）→（約50分）→勝山駅下車
【平泉寺白山神社】平泉寺線バスで「平泉寺神社前」下車

●自動車
北陸自動車道福井北JCT・IC→中部縦貫自動車道（無料区間）勝山IC経由（約25分）
東海北陸自動車道白鳥IC→油坂峠道路を通って国道158号線・157号線経由（約60分）

「日本遺産（Japan Heritage）」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

JAPAN HERITAGE 日本遺産

nihonisan-ishigatari.jp
石がたり

福井・勝山 石がたり
中世・近世のまちづくり、そして現代

令和5年1月改訂

[発行] 福井・勝山日本遺産活用推進協議会
（事務局：福井県交流文化部文化課）
福井県福井市大手3丁目17-1
☎0776-20-0572 FAX 0776-20-0661

文化庁

令和元（2019）年度文化資源活用事業費補助金
（観光拠点整備事業）

※表紙の写真2点は北野武男氏（福井市）撮影

Guide Book

The stones echo the history.
City development of Fukui and Katsuyama in 15－17 centuries.

JAPAN HERITAGE 日本遺産

福井・勝山 石がたり

中世・近世のまちづくり、そして現代

白山平泉寺旧境内南谷坊院跡の石畳



一乗谷朝倉氏遺跡下城戸跡の石垣



福井・勝山 石がたり

中世・近世のまちづくり、そして現代

かつての越前の国、現在の福井県北部にある勝山市と福井市。そこでは15〜17世紀に、「石」を計画的に用いた都市が築かれました。また石は、この地にすむ人々の精神文化にも深く影響したのです。

それらの石は遺構として残るだけでなく、今もまちなかの身近な風景の中に息づき、そして石の前にいるわたしたちへ、かつての人々の営み、歴史を静かに語りかけてきます。

2019年5月、中世・近世から石と共にあるまちと人のストーリーが日本遺産に認定されました。これを機に、ぜひ勝山と福井の地をめぐり、石に向き合い、400年以上前から今も続く共生の響きに耳を澄ませてみてください。



福井・勝山 石がかたる3つのストーリー

中世

石づくりの戦国城下町と中世宗教都市

古代より京と北陸道諸国を結ぶ交通の要所だった越前の国には、戦国時代に2つの巨大な都市が発展しました。「白山平泉寺」と「一乗谷」です。

白山平泉寺は石を積み、割る高度な技術を用いて、計画的に巨大な宗教都市を築きました。その技術は武家である朝倉氏にも取り入れられ、ほど近い一乗谷でも石を生かした城下町が発展しました。

近世

近世城下町のまちづくりと石

白山平泉寺と一乗谷が滅んだ後、石に関する技術は、新たに築かれた近世の城下へと受け継がれていきます。

柴田勝家による北ノ庄城、その後の結城秀康による福井城とその城下町には、福井・足羽山産の青色の「笏谷石」が大量に用いられました。一方、勝山では、九頭竜川によってできた河岸段丘の「七里壁」に川石が積まれ、区分けされた城下町が形成されます。

美と信仰

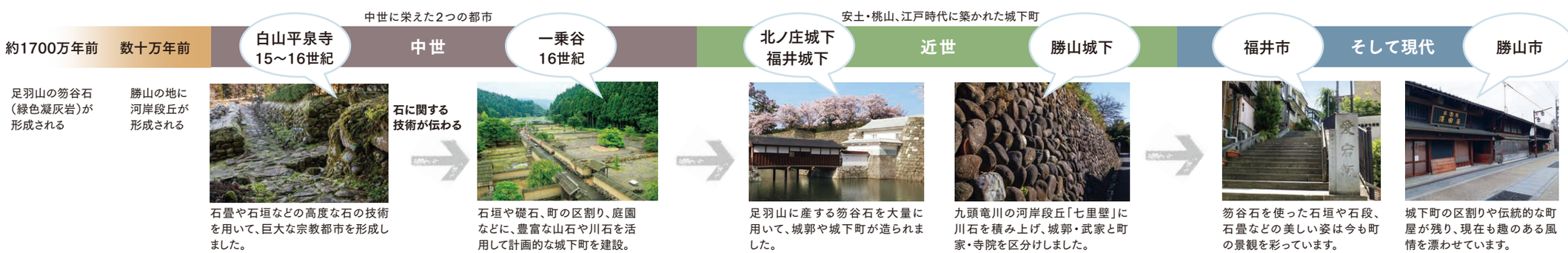
石に現れた日本人の美と信仰

石は都市づくりに機能的に用いられる一方で、人々の美の表現や信仰の対象に活かされました。

中世の白山平泉寺、一乗谷に残る石を使った庭園、笏谷石製の石仏や石塔は、当時の人々の精神文化や祈り、鎮魂の思いを鮮やかに伝えます。また近世につくられた越前松平家の別邸「養浩館庭園」では、石と水の景色がつくる優美な空間が侘びの世界を映し出しています。

受け継がれた石のまちづくり

中世から近世、そして現代まで、越前・福井ではどのように石を用い、都市が発展してきたのでしょうか。



知っておきたい「石がたり」のカナメ

古から勝山・福井の地では、人々が「石」と共生しながら都市を築き、文化を育んできました。
それらをつなぐストーリー「石がたり」を理解するためのポイントを解説します。

主役は こんな石たち

白山平泉寺と一乗谷の石垣や石積には、山を造成した際に出るごつごつした「山石」が多く使われています。

河川の流域で見つかるなめらかで丸い「川石」は、白山平泉寺の石畳や勝山市街地の七里壁に用いられました。

福井市の足羽山産の「笏谷石」は、加工のしやすさから建材や日用品など幅広い用途に使われました。



【山石】
造成時などに発見されたごつごつした石。石垣や石積に使用。



【川石】
河川の流域で産出する丸い石。石畳や石垣などに使用。



【笏谷石】
足羽山周辺で採れる緑色凝灰岩。加工しやすく建材や日用品に使用。

石垣に個性あり！



平泉寺白山神社・本社前の石垣
有力僧が石の大きさを競い合って造ったとされる大石垣。巨石がより大きく見えるよう、石を立て、壁に貼り付けるようにして積まれています。



一乗谷朝倉氏遺跡・下城戸跡の石垣
城下町の入り口に、巨石を5メートル近く積み上げ、内側に折れ曲がった通路を形成。その威容は外部からの侵入者に威圧感を与えるようです。



福井市街地・福井城址の石垣
約4万個の笏谷石の切石を積み上げた福井城本丸周囲の石垣。目地が横に通る布積み（整層積み）の技法で積まれ、青く美しい姿を見せます。



白山平泉寺旧境内・南谷坊院跡の石垣
石垣や石畳が整備され宗教都市の基礎をなしました。土塀の石垣は山石を掘り出して築き、石畳には女神川から運んだ川石が敷かれています。



一乗谷朝倉氏遺跡・土塀基礎の石垣
一乗谷も石を多用して整備されました。石が示す町割りに加え、使われている石の大きさや石積の高さからも、各屋敷に住む人の身分が読み取れます。



勝山城下町・七里壁の石垣
九頭竜川が形成した河岸段丘の崖状になった壁面に、丸い川石を5～7メートルの高さで積み上げた石垣が造られ、城下町を区割りしていました。

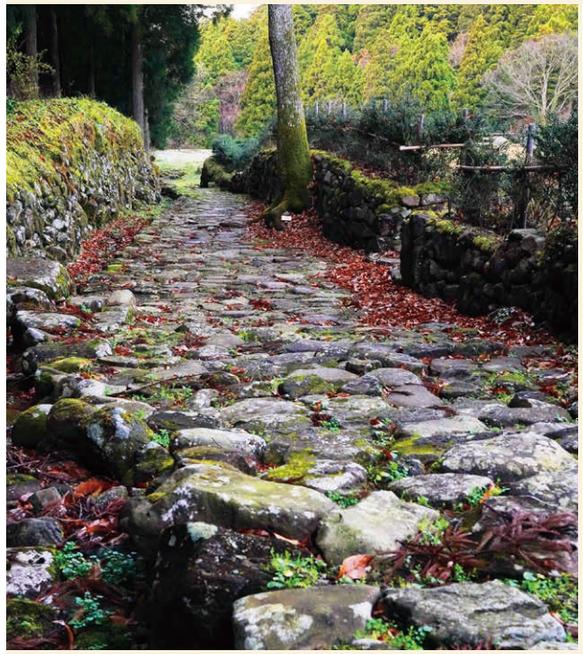
中世

石づくりの戦国城下町と中世宗教都市

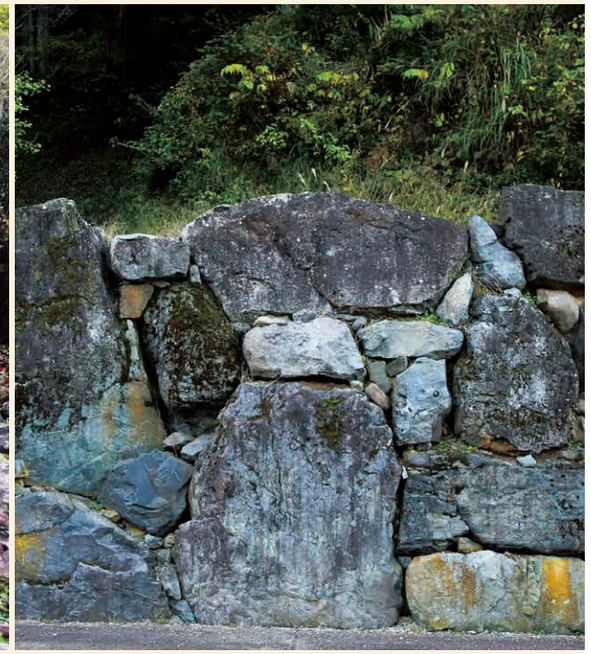
白山平泉寺では石を計画的に用いた巨大な宗教都市が築かれ、
一乗谷でも石を活かした城下町が発展しました。

構成文化財

1. 一乗谷朝倉氏遺跡
2. 白山平泉寺旧境内
3. 一乗谷古絵図
4. 中宮白山平泉寺境内図
5. 「一乗の入江」の石敷遺構
6. 美濃街道
7. 朝倉街道
8. 安波賀街道
9. 九頭竜川・足羽川・一乗谷川
10. 一乗谷朝倉氏遺跡出土品
11. 白山平泉寺出土品



白山平泉寺旧境内南谷坊院跡の石畳（勝山市）



一乗谷朝倉氏遺跡下城戸跡の石垣（福井市）

石を礎に繁栄した、越前の2つの都市

白山平泉寺は、中世の最盛期には48社36堂、6000の坊院を持ち、8000人の僧兵を要する巨大な宗教都市でした。一向一揆に攻められて全山を焼失しますが、1989年に発掘が始まると、大規模に施工された石垣や石畳が出土。全国的にも早く、石を使って都市全体を造り上げた高度な技術が明らかになりました。山石で石垣を築き、道は平たい川石を敷き詰め、石畳に並行して排水溝を設け、坊院を等間隔に配するなど綿密な都市計画の跡が見られます。

この平泉寺が持つ先進的な技術は、直線距離で20数キロ離れた一乗谷に受け継がれました。

一乗谷朝倉氏遺跡は国の特別史跡に指定され、1967年から調査が続いています。ここでも石を都市建設に巧みに利用しています。城下町入り口には巨石を5メートル近く積み上げた城戸が威容を誇ります。朝倉義景の館跡をはじめ家臣などの屋敷跡には石垣の区割りや礎石が非常に良い状態で数多く残り、屋敷の各部屋の間取りなどが判明しました。笏谷石製の井戸枠、バンドコなどの生活用品とともに、往時の城下町の賑わいを伝えています。また、山石を立体的に組み合わせた庭園も数多く残されています。

近世

近世城下町のまちづくりと石

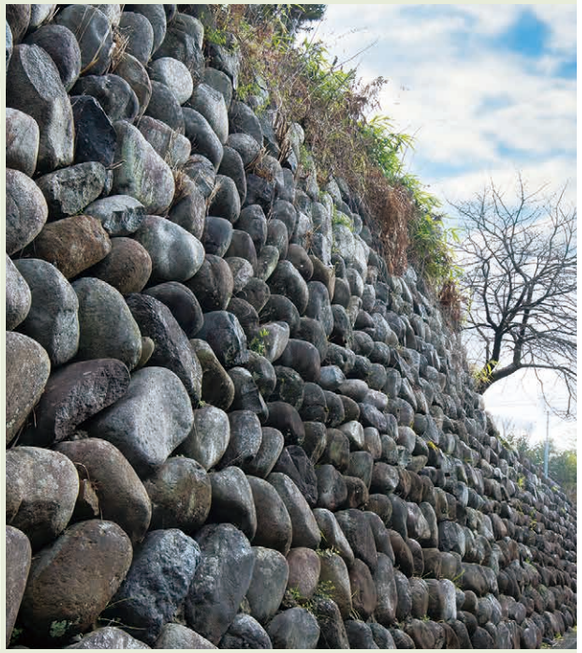
白山平泉寺と一乗谷の石に関する技術は近世に受け継がれ、
現代の町並みにもつながる城下町の形成を支えました。

構成文化財

12 笏谷石
13 北ノ庄城址
14 九十九橋
15 福井城址
16 芝原用水
17 丹巌洞
18 大安禅寺
19 足羽山周辺の景観
20 七里壁
21 旧勝山城下の街並み景観
22 大清水



福井城址の笏谷石の高石垣（福井市）



勝山城下町・七里壁の石垣（勝山市・義宣寺付近）

石と川を活かした近世の城下町

織田信長から越前を与えられた柴田勝家は、現在の福井市中心部にあたる北ノ庄に城を築きました。北ノ庄城は、7層（9層とも）の天守を持ち、笏谷石製の瓦が葺かれていたようです。また、勝家は足羽川に北半分が木造、南半分が笏谷石造の九十九橋を架橋しました。

関ヶ原の戦い後、結城秀康が越前を拝領し、新たな北ノ庄城（後の福井城）を築きました。四重の堀を廻らせた城は、現在は内堀を残すのみですが、約4万個の笏谷石を用いた石垣や、天守台などが残ります。

このように近世の城郭・城下町は、笏谷石の産地である足羽山に近くなったこともあり笏谷石が建材などとしてまちづくりに大量に使われるようになったのです。大安禅寺にある松平家の廟所「千畳敷」や「丹巌洞」などでも笏谷石が多く用いられています。また、北前船で日本海側の各地にも笏谷石が運ばれました。

一方、勝山の城下町では、九頭竜川の流れが形成した河岸段丘を利用して町が整備されました。段丘の崖の部分に高さ5～7メートル、南北20キロ余りにわたって川石を積み上げた「七里壁」が、城郭・武家と町家・寺院を分ける区割りとされ、今も景観を形作っています。

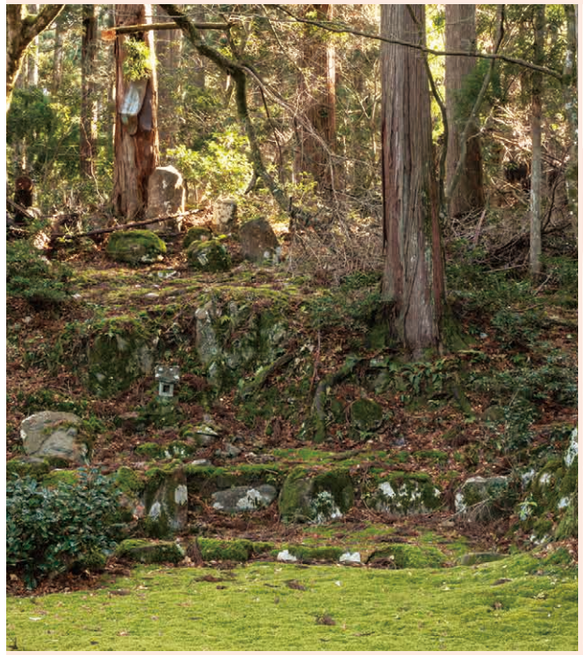
美と信仰

石に現れた日本人の美と信仰

美しい庭に投影される美意識や、石仏に込められた鎮魂の心、
そして権力の象徴。石は人々の思いも映し出します。

構成文化財

23 一乗谷朝倉氏庭園
24 旧玄成院庭園
25 養浩館庭園
26 一乗谷朝倉氏遺跡の石造物
27 白山平泉寺の石造物



平泉寺白山神社にある旧玄成院庭園（勝山市）



一乗谷の西山光照寺跡の石仏（福井市）

石が物語る、華やぎと祈り

越前に残る中世・近世の庭園では、石の配置や造形の特徴をうまく取り入れ美的景観を作り出している例が数多く見られます。現在の平泉寺白山神社の社務所奥にある旧玄成院庭園は、北陸に現存する庭園では最も古い1530年代に作られたものと推定されており、国名勝に指定されています。枯池の周囲に石を巧みに配置した枯山水の庭園です。

また一乗谷朝倉氏遺跡では、4つの庭園が国の特別名勝に指定されています。滝石組に巨石を配した庭園や、石組の庭園、平庭、枯山水などと、それぞれが個性に富み、当時京都で流行していた作庭の様式を取り入れるなど、一乗谷の文化の華やかさを物語ります。

江戸時代につくられた越前松平家別邸の「養浩館庭園」は、柱状節理の岩柱や、池の岸辺に配された県内外各地の名石のほか、笏谷石を効果的に使い、池を中心にした大名庭園に個性を添えています。

人々の祈りや鎮魂の思いを表すのが石仏や石塔です。一乗谷朝倉氏遺跡では、6000点を超える石仏や石塔が確認されており、ほとんどが笏谷石製です。平泉寺白山神社にも、石造りの泰澄大師廟や楠木正成の墓、無数の石仏などが歴史と信仰の深さを感じさせます。

歩こう、かたろう 日本遺産 ①

白山平泉寺

白山信仰の拠点として
中世に栄えた白山平泉寺。
計画的につくられた石垣や石畳など、
石の見どころがいっぱいです。



本社前の大石垣

本社前の大石垣は、高さ3m、長さ110m以上にわたります。積まれた岩の存在感に圧倒されそうです。



楠木正成の墓



南谷坊院跡の石畳と石垣

全国に先駆けた 石でつくられた都市

山を切り開き、町並みを安定させるために石が用いられました。坊院跡には中世最大規模の石畳が張り巡らされています。

泰澄大師廟

牛岩・馬岩（旧参道）

石畳の旧参道の中間に、牛岩（左）と馬岩（右）と呼ばれる大きな岩があります。

南谷坊院跡では、出土した礎石と石垣をそのまま利用して坊院の門と土塀を復元。

南谷坊院跡の石垣に残る、石を割る技術「矢穴技法」の跡



歩こう、かたろう 日本遺産 ②

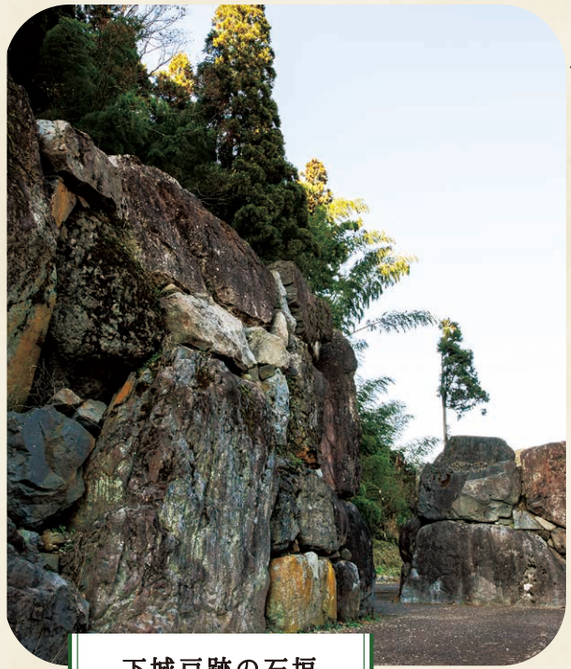
一乗谷朝倉氏遺跡

越前朝倉氏の
城下町である一乗谷では、
屋敷跡の礎石や庭園跡、
笏谷石の日用品などが見られます。



西山光照寺跡の石仏

かつて一乗谷最大だった寺院跡で、付近には笏谷石製の石仏が多数残っています。



下城戸跡の石垣

谷の入り口にある下城戸跡の石垣は、5m近い高さに石が積んであり、大きさと高さに圧倒されます。



石垣に注目すると、山石・川石という素材や、石の大小などから、家主の格式や身分の違いまで見て取れます。



武家屋敷や町屋が立体復原された「復原町並」は、礎石や石垣が良い状態で残っていたからこそ実現できたもの。



笏谷石製の鬼板

遺跡にほど近い福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館では、重要文化財を含むさまざまな出土品を見ることができます。



笏谷石製井戸枠



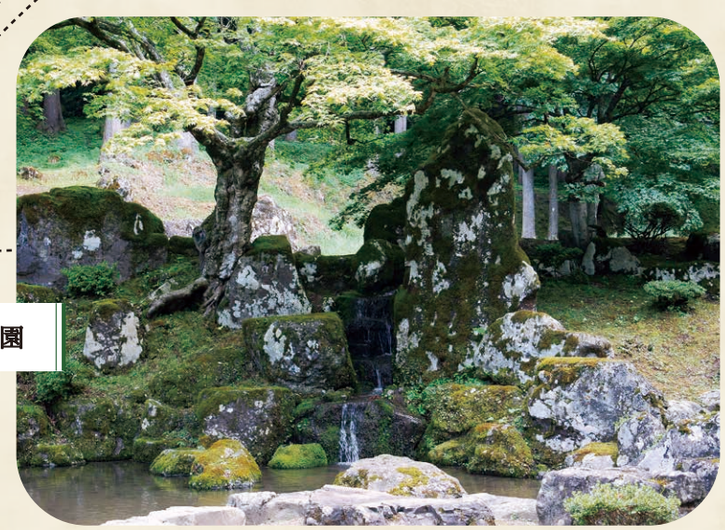
南陽寺跡庭園



朝倉館跡庭園



湯殿跡庭園



諏訪館跡庭園

国特別名勝の４庭園

一乗谷朝倉氏遺跡には15カ所以上の庭園跡が確認され、そのうち4カ所が国の特別名勝です。



歩こう、かたろう日本遺産 3

福井市街地エリア

初代・福井藩主の結城秀康が
築いた城跡を中心に、まち歩きを
すると、笏谷石を用いた遺構が
たくさん見つかります。



大安禅寺

松平家の廟所「千畳敷」は1360枚もの敷石をはじめ、墓石や柵、門扉まで笏谷石製です。



養浩館庭園

越前松平家別邸の庭園では県内外の多様な石が使われています。



丹巌洞

笏谷石の採掘場跡に建てられた庵で、福井藩士がここに集って密議した幕末の雰囲気を今に伝えます。



朝日山不動寺

足羽山周辺には笏谷石の採掘場跡が多く残り、ここでは露天掘りの跡が見られます。



福井城址

現存する福井城の石垣は約4万個の笏谷石で築かれ、天守台も二段の石垣で構成されています。



歩こう、かたろう日本遺産 4

勝山市街地エリア

九頭竜川の流れがつくった
河岸段丘が広がり、
江戸時代にまちの区割りに
活用された七里壁が連なるまちです。



七里壁

数十万年前の九頭竜川の浸食と堆積、土地の隆起でできた河岸段丘の崖に丸い川石を積み上げて築かれた石垣が断続的に続いています。





旧勝山城下の街並み

勝山城跡

かつて七里壁の上に広がる段丘面には勝山城があり、現在は当時を偲ばせる碑が建っています。



大清水

町家が軒を連ねた下の段丘面では、かつては多くの清水が飲料水や生活用水に用いられました。今は大清水が残っています。

構成文化財

P18.19にMAP

福井・勝山 石がたり

中世・近世のまちづくり、そして現代

ストーリー1 石づくりの戦国城下町と中世宗教都市

01 一乗谷朝倉氏遺跡（福井市） 国指定特別史跡



戦国大名朝倉氏が築いた中世都市。敵の侵入を防ぐため、巨石を積み上げて築かれた下城戸跡は迫力満点です。発掘で確認された遺構は露出展示され、当時の屋敷の礎石や石垣などを見ることができます。

福井市城戸ノ内町

02 白山平泉寺旧境内（勝山市） 国指定史跡



白山信仰の拠点寺院。石をまちづくりに利用する高度な技術を全国的に早く用いて、中世には石畳や石垣を計画的に整備した国内最大級の宗教都市へ発展しました。その技術は、武家の朝倉氏により一乗谷城下町へ導入されました。

勝山市平泉寺町平泉寺

03 一乗谷古絵図（福井市）



江戸末期の一乗谷を描いた絵図面。戦国時代の城下町の構造物や、有力家臣の屋敷跡、寺院跡などが記載されています。諏訪館跡の立石の注記に「弘化四年（1847）」の記載があることからそれ以降の作成と考えられています。

所蔵：安波賀春日神社（写真提供：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館）

04 中宮白山平泉寺境内図（勝山市）



白山平泉寺の最盛期の様子を描いた絵図。発掘が進む南谷坊院跡では、縦横に走る石畳や石垣、並行する側溝、等間隔に配置された坊院跡など、絵図が示すように計画的につくられた都市の遺構が見つかっています。

所蔵：平泉寺白山神社（写真提供：勝山市）

05 「一乗の入江」の石敷遺構（福井市）



2017年の発掘調査で、川湊として栄えたといわれる安波賀で確認された、足羽川につながると推定される旧河道を横切る石敷遺構。道路あるいは船着き場、荷揚げ場といった役割が想定されています。

福井市安波賀中島町（写真は福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 遺構展示室）

06 美濃街道（福井市）



大野を経て岐阜の美濃へと東西方向に走る美濃街道は、物資の運搬や領地外への派兵など朝倉氏の領地支配に大きな役割を果たしました。

福井市江端町～岐阜県美濃加茂市

07 朝倉街道（福井市）



越前を南北に縦断する幹線道で、敦賀や京などからの物資を一乗谷に届けました。旧北陸道とほぼ並行し、南は現在の南越前町、北は坂井市あたりまで伸びていたとされます。東大味町には石畳や石積の遺構が残ります。

坂井市丸岡町～南越前町南条地区

08 安波賀街道（勝山市）



中世に白山平泉寺と一乗谷を最短距離で結び、流通や戦略上の役割を担った古道。現在の勝山市鹿谷町から福井市美山地区の皿谷などを経て安波賀町へ至ります。勝山側起点付近には要所の押さえとして西光寺城跡が残ります。

勝山市鹿谷町～福井市安波賀町

09 九頭竜川・足羽川・一乗谷川（福井市・勝山市）



九頭竜川



足羽川



一乗谷川

河川は一乗谷や白山平泉寺、福井城下の繁栄を支えた輸送の動脈となり、都市の建材や日用品の材料としての石も運ばれました。足羽山周辺で採掘した笏谷石の石材や製品は川を下り、三国湊から遠くは北海道など全国各地へ届けられました。

10 一乗谷朝倉氏遺跡出土品（福井市） 国指定重要文化財（美術品）



発掘調査では多くの遺物が出土し、石仏、石塔のほか、寝床を温めるバンドコや湯を沸かす風炉など石で作られた多様な生活用品が出土しました。その中には足羽山産の笏谷石製のものもあり、一乗谷では、暮らしに石が深く関わっていたことが分かります。

所蔵・写真提供：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

11 白山平泉寺出土品（勝山市）



白山平泉寺では、金属加工に関わる坩堝や鉄滓、数珠玉をつくる道具など生産活動に関わる遺物が出土。また中国製陶磁器や珍しい青白磁の観音像など広い交易を示す品々が見つかり、生産と消費が盛んな巨大都市だったことが分かります。

所蔵・写真提供：勝山市

ストーリー2 近世城下町のまちづくりと石

12 笏谷石（福井市）



足羽山周辺で採掘された緑色凝灰岩。濡れると深い青色になることから、「越前青石」とも呼ばれます。柔らかくて加工しやすく、古くは古墳に埋葬される石棺として用いられました。中世に採掘が再開され、建材や日用品など幅広く利用されました。

（写真は朝日山不動寺の露天掘り跡）

13 北ノ庄城址（福井市）



朝倉氏滅亡後に越前を統治した柴田勝家が築いた巨大城郭。屋根に笏谷石が葺かれた美しい姿を宣教師のルイス・フロイスが書き記しています。発掘された石垣の一部が柴田神社境内に残されています。

福井市中央1-21-17

14 九十九橋（福井市）



柴田勝家が北陸道と足羽川が交差する要衝に築いた半石半木の橋。その理由については諸説ありますが、江戸時代には名橋・奇橋として広く知られていました。

福井市照手1丁目～つくも1丁目

15 福井城址（福井市）



初代福井藩主結城秀康が築城。四重に廻る堀は堅牢な石垣に囲まれていました。石垣はすべて笏谷石製で、用水や暗渠、建物の礎石や瓦などの建材も笏谷石で作られていました。その美しい姿は、現在も福井の街の景観を彩っています。

福井市大手3-17-1

16 芝原用水（福井市）



結城秀康が福井城と城下町を建設する際、城下の飲み水を確保する目的で築いた上水路で、九頭竜川から取水していました。発掘調査により福井城内の一部では石組みが築かれていたことが分かっていますが、全貌は不明です。

福井市宝永3-1-1（※九頭竜川から取水し福井城内へ）

17 丹巌洞（福井市） 市指定史跡 国登録建造物



福井藩の医師、山本瑞庵が足羽山の麓の笏谷石採掘場跡に建てた庵。美しい庭園の通路の敷石や橋などに笏谷石がふんだんに使われています。幕末には藩主の松平春嶽をはじめ、橋本左内ら志士の密会の場となりました。

福井市加茂河原1-5-12

18 大安禅寺（福井市） 国指定重要文化財（建造物）



第4代福井藩主松平光通の創建。境内からほど近い山中にある歴代藩主を祀る廟所「千畳敷」は、1360枚もの笏谷石が使われています。また墓石、柵、門扉に至るまで笏谷石が用いられており、荘厳な空間を演出しています。

福井市田ノ谷町21-4

19 足羽山周辺の景観（福井市）



足羽山山頂に続く愛宕坂や百坂などにつくられた石段には笏谷石がふんだんに使われています。ふもとにはかつての採掘場の跡地を見ることができます。同じくふもとに建立されている寺社の灯篭などにも笏谷石が用いられ、青い石が厳かな雰囲気を醸しています。

福井市足羽山周辺（写真は百坂）

20 七里壁（勝山市）



勝山の市街地には、九頭竜川の河岸段丘が広がります。江戸時代にはその段丘を利用し、崖部分に川石を積んだ石壁「七里壁」を境として、城郭・武家と町家・寺院を区分けされた城下町が形成されました。

勝山市栄町～立川町付近（写真は義宣寺付近）

21 旧勝山城下の街並み景観（勝山市）



江戸時代の勝山では、藩主の小笠原家のもとで七里壁が武家と町家などを区分けする境界に利用され、美しい街並みが作られました。現在も伝統的な建築様式の町屋や複雑に入り組んだ坂道、路地が残り、趣ある風情を醸しています。

勝山市本町通り周辺

22 大清水（勝山市）



勝山市街地に広がる河岸段丘の最も低い段丘面に湧き出る伏流水。かつては随所に清水がありました。現在ではこの大清水が唯一残っており、丸い川石の石垣が作る風情ある景観とともに市民に愛されています。

勝山市本町2-8-24

ストーリー3 石に現れた日本人の美と信仰

23 一乗谷朝倉氏庭園（福井市） 国指定特別名勝



一乗谷では、豪壮な庭石組の池泉回遊式や枯淡な枯山水など15カ所以上の庭園跡が見つかり、良好に原形を残す石組が当時の庭園様式を伝えています。そのうち最も大きな「諏訪館跡」など4庭園が国指定特別名勝です。

福井市城戸ノ内町

24 旧玄成院庭園（勝山市） 国指定名勝



平泉寺白山神社境内にある室町時代末期の回遊式枯山水庭園で、北陸に現存する最古の庭園とされます。正面の築山にある本尊石、立石や伏石、滝石組など自然石が巧みに配置され、苔との調和が美しい景観を形成しています。

勝山市平泉寺町平泉寺56-63

25 養浩館庭園（福井市） 国指定名勝



越前松平家の別邸である回遊式林泉庭園。長さ5メートル幅90センチもの巨大な自然石を使った石橋や、景石、立石、笏谷石製のつくばいなど県内外の名石を各所に使っていて、ゆっくり散策しながら水と石が作る景観を楽しめます。

福井市宝永3-11-36

26 一乗谷朝倉氏遺跡の石造物（福井市） 国指定特別史跡



一乗谷周辺には、戦国期に造られた笏谷石製の石仏・石塔が6000点以上確認されています。西山光照寺跡や盛源寺などに数多く残る石仏の繊細で優美な表情は、当時の人々の厚い信仰心を伝えています。

福井市城戸ノ内町

27 白山平泉寺の石造物（勝山市）



境内には笏谷石製の泰澄大師廟や、楠木正成の墓、狛犬などが見られ、平泉寺墓地には400年以上前の石仏や五輪塔などが並びます。また旧境内には明治期の廃仏毀釈で破損された石仏も点在しています。

勝山市平泉寺町平泉寺（写真は楠木正成の墓）

福井のまちぶらスポット＆うまいもん

P18にMAP

B 足羽山

まちぶら

山全体が市民の憩いの場



標高100m程の小山に憩いの場が点在する足羽山。足羽山公園遊園地には動物園（ハピジャン）やアスレチック遊具があり、周辺には自然史博物館や樹齢370年のしだれ桜が根を張る足羽神社をはじめ、昔ながらの茶屋やお洒落なカフェなどが並んでいます。

◉足羽山公園遊園地／福井県福井市山奥町58-97　☎0776-34-1680

D 福井市グリフィス記念館

まちぶら

史料から「異人館」の外観を復元



明治初期に教師として活躍した米国人ウィリアム・E・グリフィスの邸宅を、史料をもとに考証・復元しました。西洋の意匠と日本建築の伝統技法を取り入れた和洋折衷の洋館で、明治維新を福井の地で見届けた異邦人の生涯に思いを馳せてみては。

◉福井県福井市中央3丁目5-4　☎0776-50-2911

F 羽二重餅

うまいもん

絹織物のような美しさの福井の伝統銘菓

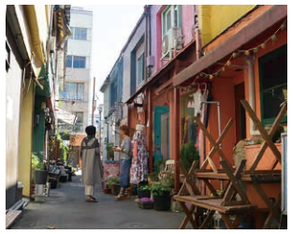


繊維業が盛んだった福井発祥の羽二重のように柔らかい和菓子です。米と砂糖、水あめだけで作られるシンプルで優しい味ながら、一世紀以上にわたって県民に愛されています。現在では羽二重餅から派生したスイーツも人気となっています。

A 新栄商店街

まちぶら

個性的な店舗が軒を連ねるレトロな商店街



まるでタイムスリップしたかのような昭和の面影を残すアーケード街。老舗ブティックや純喫茶から猫カフェまで個性豊かなお店がひしめき合っています。レトロな雰囲気が漂う路地裏を散策しながら、ふらっと巡るだけでも楽しいスポットです。

◉福井県福井市中央1丁目12～14

C セーレンプラネット（福井市自然史博物館分館）

まちぶら

息をのむ臨場感の3Dシアター



謎に満ちた宇宙の魅力を、楽しく学ぶことができる博物館です。日本一の解像度を誇るリアル8Kドームシアターに投映するプラネタリウムは、肉眼では見ることのできない星まで忠実に再現。他にも実際の隕石展示や宇宙食の販売もしています。

◉福井県福井市中央1丁目2-1　☎0776-43-1622

E ソースかつ丼

うまいもん

全国にファンも多い福井のソウルフード



カツレツの消費量日本一の福井が生んだB級グルメ。100年以上の歴史があり、薄切りのサクサクかつに甘辛ソースが絡んだこの一品を目当てに、全国からファンがやってきます。油濃くなくヘルシーなので、幅広い世代が食べやすい丼です。

G 水ようかん

うまいもん

上品な甘さとのど越しを味わう冬の風物詩



福井では昔から「こたつに入って水ようかん」が一般的な冬の光景でした。黒糖のコクと餡の優しい甘さが醸し出す風味とのど越しの良さは、気付いたらひと箱完食なんてことも。その水と糖分の絶妙なバランスをぜひ味わってみてください。

勝山のまちぶらスポット＆うまいもん

P19にMAP

I はたや記念館ゆめおーれ勝山

まちぶら

繊維のまちで織物の歴史を感じる



築100年以上の織物工場を保存・活用した織物ミュージアム。糸繰機など、昭和に活躍した織物機械を今も動く状態で展示しています。手織りコースター体験なども人気で、実際の織機にふれながら織物の仕組みが学べます。建物は市指定文化財です。

◉福井県勝山市昭和町1丁目7-40　☎0779-87-1200

K 旬菜食祭　お食事処花月楼

うまいもん

国の登録文化財で味わう郷土料理



明治30年築の有形文化財をかつての佇まいそのままにリノベーション。傘天井の大広間や料亭らしい意匠を凝らした造りの中で、織物文化で栄えた料亭文化と地元の郷土料理を味わうことができます。勝山の文化と食が一度に堪能できる空間です。

◉福井県勝山市本町2丁目6-21　☎0779-87-1355

M 勝ち山おやき

うまいもん

勝山市民の大好物おやつ



勝山の定番おやつは、風味の高いよもぎをふんだんに使用した餅で、つぶあんを包んだおやき。焼き目を付けた表面から香るよもぎと優しい甘さには長い伝統があります。お店によって個性が違うので様々な味のおやきを堪能してみてください。

H 本町通り

まちぶら

城下町時代の歴史情緒香る商店街



勝山城の城下町として栄え、現在でも江戸情緒ただよう伝統的な町屋が数多く残っています。400年の歴史を誇る料亭旅館など昔ながらの商店が軒を連ね、「勝山左義長まつり」や「勝山年の市」のイベントもこの通りを中心に開催されています。

◉福井県勝山市本町1～4丁目の一部

J 九頭竜川（弁天河原）

まちぶら

勝山の大自然を満喫



約1.5kmの遊歩道「弁天河原ウォーキングコース」が堤防上に整備され、周囲の山々と九頭竜川を一度に楽しむことができます。春には約600本の桜が咲き誇る中、100匹以上の鯉のぼりが風に乗って泳ぐ風物詩を眺めることができます。

◉福井県勝山市本町・立川町

L 勝ち山ぼっかけ

うまいもん

受け継がれてきた祝い事の伝承料理



赤いかまぼこや三つ葉などがのった温かいご飯に出汁をかけて食べる郷土料理。勝山の素材を使用し、見た目にも華やかな一品が多いぼっかけは、披露宴など祝い事の席に出される縁起物として、古くから市民に親しまれてきました。

N 勝ち山おろしそば

うまいもん

こだわりの地元流で食すおろしそば



勝山市内で収穫されたそば粉を使用して、そばとつなぎの割合がそば8割以上である手打ちそばを「勝ち山おろしそば」と呼びます。おろしを混ぜた出汁をそばにかけて食べるのが地元流。勝山の気候とそば粉に合わせて毎日仕上げるおろしそばは絶品の一言。





「石がたり」をもっと知るための施設はココ！

福井城下の歴史、笏谷石について



福井県立歴史博物館

戦国武将大谷吉継が寄進したとされる鬼瓦や越前狛犬などの笏谷石製品を展示しています。映像ライブラリーでは、「越前青石」をテーマにした動画を常時見ることができます。また大型の城下絵図「北庄四ツ割図」「福井御城下絵図」も常設で並べてあります。

住所／福井県福井市大宮2-19-15
☎／0776-22-4675
営業時間／9:00～17:00 入館は16:30まで
定休日／第2、4水曜日、年末年始ほか（HPで確認）
入場料／一般100円、団体80円（企画展中は別料金）
https://www.pref.fukui.lg.jp/muse/Cul-Hist/



福井市立郷土歴史博物館

半分が笏谷石でできた半石半木の「九十九橋」の原寸大模型、福井城本丸の模型や福井城の城下絵図を焼き付けた陶板などを展示。福井城下の人々の暮らしがよくわかります。「養浩館庭園」に隣接し、また復元した福井城「舎人門」も見ることができます。

住所／福井県福井市宝永3丁目12-1
☎／0776-21-0489　営業時間／9:00～19:00
（11月初旬～2月末は17:00）
定休日／年末年始ほか不定休（HPで確認）
入場料／常設展示 個人220円、団体160円（企画展中は別料金）養浩館との共通券 個人350円、団体260円
http://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp/

一乗谷朝倉氏遺跡について



福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

一乗谷朝倉氏遺跡近くにあり、栄華を誇った戦国城下町の全体像や歴史的価値を楽しみながら学べます。5代当主義景が居住した朝倉館の原寸再現、石敷遺構の露出展示、城下町ジオラマなどが見どころです。館内にはカフェやショップも併設されています。

住所／福井県福井市安波賀中島町8-10
☎／0776-41-7700　営業時間／9:00～17:00
定休日／毎週月曜日（特別展期間中を除く）、年末年始ほか（HPで確認）
入場料／基本展示 一般700円、団体560円（特別展中は別料金）　復原町並との共通券820円
https://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/

白山平泉寺について



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

平泉寺白山神社のすぐ前にある史跡の総合案内施設。タッチパネルやハイビジョン映像、発掘調査で出土した多様な遺物などから、平泉寺の歴史や発掘の状況、史跡散策の見どころを知ることができます。「中宮白山平泉寺境内絵図」の実物大パネルも。

住所／福井県勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
☎／0779-87-6001
営業時間／9:00～17:00（入場は16:30まで）
定休日／年末年始（12/29～1/3）　入場料／無料
https://www.city.katsuyama.fukui.jp/heisen-ji/mahoroba/

おすすめホームページ

「国史跡 白山平泉寺 まほろばなし」
http://heisenji.jp

「よみがえる中世の宗教都市 白山平泉寺旧境内」
https://www.city.katsuyama.fukui.jp/heisenji/

「福井市文化遺産」
http://fukuisan.jp/

「福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 デジタルアーカイブ」
https://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/digital_archive/